

市報

そお



特集

曾於市への入口

2

vol.152

曾於市への入口…P4

目 次

県下一周駅伝始まる……………	10
まちの話題……………	12
平成 30 年曾於市成人式 ……	15
図書館だより……………	16
教育委員会から……………	17
健康について……………	18
子育てについて……………	20
補助金・年金 etc. ……	22
生活について……………	24
情報掲示板……………	26
市民の広場・今月のプレゼント…	29
戸籍の窓……………	30
くらしの情報……………	31



今月の表紙

1月13日、たからべ森の学校で『たからべ森の学校マルシェ』と地域おこし協力隊主催の『その学校 映画部 ラ・ラ・ランド上映会』が開催されました。表紙の写真は、手作りゴム鉄砲で遊ぶお子さんと見守るお父さん。お子さんが楽しめるブースも多く、親子連れで賑わっていました。

たか森カフェよりお届け!

曾於市の旬を食べる。

第9食目
甘酒でふくら♪
たらのバター醤油
ホイル焼き

材料（2人分）

たら…………… 4 切
白だし…………… 小さじ 1
甘酒…………… 大さじ 3
長ねぎ…………… 1 本
にんじん…………… 1/8 本
えのき…………… 1/4 株
しめじ…………… 1 株
レモン…………… お好み量
バター…………… 大さじ 1
★酒…………… 大さじ 2
★味噌…………… 小さじ 1/2
★醤油…………… 小さじ 2

つくり方

- ① たらの切り身を白だし・甘酒に20分程漬け込みます。
- ② 長ねぎは斜め細切り、にんじんは細切り、えのきとしめじは小房に分けます。
- ③ アルミホイルの上にたらと、にんじん、長ねぎ、えのき、しめじを置く。
- ④ たらの真ん中にバターとレモンを乗せ、★の調味料を合わせて全体にかける。
- ⑤ 奥と手前のアルミホイルをしっかり隙間ができないように合わせ、少し折り目をつけ閉じる。
- ⑥ ④をフライパンにのせてお湯をはり蓋をし、弱火で10～15分蒸し焼きにする。



たか森カフェでは旬の食材を豊富に取り入れた野菜ランチ、ピザ、カレー、生パスタなど月替わりでお楽しみ頂けます。他、カフェタイムには、デザートやドリンクメニューも充実!! 季節を感じるメニューをお楽しみください。詳しくはホームページをご覧ください。なお、ご予約のお客様が優先となります。

たか森カフェ

毎週金・土曜日 11 時～ 16 時営業
財部町北俣 5410-1 ☎ 0986-28-6120

そお学校 映画部

部員募集! /

のご報告

2018年1月13日(土)に
たからべ森の学校体育館で、
地域おこし協力隊主催のイ
ベント「そお学校 映画部 ラ
・ランド上映会」が行わ
れました。当日の様子を写
真でお伝えします!



当日はとても寒い日で、午後1時に開場するとストーブのそばからどんどん埋まっていきました。たからべ森の学校マルシェと同時開催だったこともあり、当日参加の方も多く、約100名が参加。上映した映画『ラ・ランド』の音楽と映像が素晴らしく、体育館というのを忘れてしまうほど。終演後は全員で集合写真の撮影をし、出口では「そお学校」創立記念につくられた生徒手帳を配布。会場内にあったスタンプを押した台紙を嬉しそうに挟む姿も見ることができました!

そもそも「そお学校」とは…?

まだ学生だった頃、放課後みんなで集まって、夢中で「好きなこと」をする。「部活動」はそんな時間でした。大人になっても、大人になったから、そんな時間がとてもうらやましくて、「部活動」を始めることにしました。「みんなで部活動をするための学校」が「そお学校」です。

今回は「映画部」でしたが、今後「写真部」「家庭科部」などなど、どんな部活動をしようか画策中。今後も部員募集をかけるとお思いますので、要チェックです! 動向は、曾於市地域おこし協力隊 Facebook またはそお学校ホームページをご確認ください♪

協力隊 Facebook <https://www.facebook.com/soosi.tiikiokosi/>



そお学校 HP <https://soo-xxbu.amebaownd.com/>



曾於市内のツアー
年間150回！

昨年度の参加者
4000人超え！

曾於市観光の
総合窓口

曾於市観光特産
開発センター
の特集です。

特集 曾於市への 入回



曾於市観光特産開発センター

曾於市観光特産開発センター（以下開発センター）は道の駅すえよしの敷地内にある。平成22年より、「曾於市の総合案内」としてスタートした。観光の要として、旅行会社からのツアー受け入れや企画、現地ガイドなどを行っている。

「昨年度のツアー開催が約150回、参加者も4千人を超えました。市外のお客さんが全体の7割くらいで、中には5回、10回とリピーターとして来てくれている方もいます」と松尾所長が教えてくれた。年間150回というと、週に3回ほどやっているペース。そんなに多くのツアーが行われていたことに驚く。

「市外からお客さんが大型バスで来る大人数のものだけでなく、地元向けのちよつとした収穫体験や神社の清掃というのも含まれています。でも次から次へとツアーの準備といった感じはありますね（笑）」

開発センターでは、地元向け、つまり曾於市民向けのツアーも行っている。「曾於市を知るツアー」として史跡をまわったり、そば打ちやトレッキング、マンゴーの収穫など、内容も充実している。

曾於市観光特産開発センター
松尾 安次 所長

「町内会や同窓会などで案内をして欲しいって相談もよくあります。曾於市は広いですから、町を越えるとなかなか知らないことも多いですね。そういうときは、バスだけ自分たちで手配してもらって、行程だったり現地ガイドの手配などは、うちでしています。観光ガイドは各分野の専門家がいますので、知らない話もたくさん出てきて面白いですよ」

開発センターに在籍する観光ガイドは約50名。伝統芸能関係、史跡関係、現役バスガイドなど力強いメンバーがそろっている。

「市外の人に来てくれるのは本当にありがたいことですが、地元の人にも、もっと知ってもらえたら嬉しいですね。何かあれば気軽に相談して欲しいです」
聞いてみたら「新しい魅力的な曾於市」にきつと出会えるはず。

1月14日に行われたツアーに同行してきました！

曾於の収穫体験と道の駅ツアー

この日は「南国交通トラベルサービス」主催のツアーで、鹿児島市や始良市の方など17名の方が参加した。

朝9時に「道の駅おすみ」に到着。休憩後、末吉町にある「新屋養蜂場」へ。温かいしょうがハチミツのふるまいやハチミツ分離機の実演などが行われた。その後バスは、「川畑酒店」へ向かい、曾於市でつくられた焼酎の試飲。お目当ての焼酎を見つけ、嬉しそうに買っていく人の姿もあった。午前中の最後は「長野農園」でトマト収穫体験。この日は試食OKということで、ほおぼりながら袋いっぱい摘み取った。

その後、「道の駅たからべ」に移動。昼食と買い物済ませ、「坂口農園」に向かい、椎茸収穫体験。「今日はあるかな？」と言われていたが、たくさん採れたようで参加者も満足気。最後は「道の駅すえよし」へ。午前中に寄った「新屋養蜂場」のハチミツを買う人も多く見られた。

移動中はずっとガイドが曾於市のことを伝えていたこと、ツアー参加して貯めるスタンプカードの配布など、曾於市らしいサービスがふんだんに盛り込まれていた。



川畑酒店



新屋養蜂場



坂口農園



長野農園

参加者の声 吉富淑子さん・末廣由紀子さん（鹿児島市）

親子3人で参加しました。南国交通のチラシで見つけたときに「これは行きたい！」と思ってすぐに申し込んだんです。なかなかできない体験ができるし、巡る所も気になるところばかりだった。実際に来てみて、本当に楽しかったです。今まで「道の駅すえよし」にしか来たことがなかったんですが、これからまた行ってみたいと思う場所ができました。ありがとうございました！



「この人に会いたい」 そう思えるツアーがある //

ちはるちゃんのフルーツトマト 収穫体験

多いと週に3回来ることもあるんだ(笑)。でも来た人たちと話すのは楽しいよ。

——長野さんは農業を始められてどのくらいですか？

農業を始めたのは、20歳の頃。もう46年前だね。ちようどいい畑が手に入るっていうんで、そこを買って始めたの。最初はキュウリからだったけど、そのうちトマトも始めて、今はトマトとキュウリがメイン。1年間切らず、出荷できるようにしてるよ。

——年間通じてつくっているとは嬉しいですね。

給食にも週に1、2度出すことがあるよ。子どもたちのために、安く出してる。やっぱり大事でしょう、子どもたちっていうのはね。

——長野さんは農業を0から始められたんですね。

そう。初めての農業だったからね、難しいことがたくさんあったよ。だけど、その頃同じく始めた仲間がたくさんいた。色んな人に巡り合って、朝まで語り合ってたね。わかったことは教え合って、こまで来たんだ。始めてすぐの頃にはオイルシヨックがあったりもして、本当に大変だったけど、今じゃそれが乗り越えてきた自信になってるよ。

——その自信が「ちはるちゃんのフルーツトマト」を作り上げたんですね。開発センターのツアーの受け入れを始めたのはいつ頃ですか？

3〜4年前くらいかな？ そのとき所長やってた人



長野 千治 さん

が知り合いで、ある日収穫体験をさせて欲しいって言われて、いいよって(笑)。連れてくるのは観光客だけじゃなくて、海外からの研修も来るの。この間もブラジルや台湾からきたりね。面白いよ。通訳の人もあるんだけど、ある程度、向こうが日本語しゃべれるから、ずっと話してたよ。

観光客の人たちも「自分も育てるけどどうしたら甘くなるか」って聞いてくる人もいれば、また「来たよ」って会いに来る人もいる。多いと週に3回ツアーがくることもあって大変なんだよ(笑)。だけど笑って話していると、福も来るっていうしね。ありがたいよ。



「この人に会いたい」そう思えるツアーがある //

津留木樽工房 樽作り見学

設計図がないから最初の頃は宝探しみたい
に親父の遺したヒントを探してたよ。

——津留さんが焼酎の木樽作りに携わってどれくら
いですか？

平成21年に先代である親父に弟子入りしたから丸
8年だね。20年前にも「俺、継ごうか」って言ったら、
その時は「最低でも10年はかかる。今からじゃ俺は
教えきれない。中途半端じゃ何にもなれないから、
お前はそのまま会社に勤めてた方がいい」って言わ
れて。その頃は蔵元もあまりなかったし、自分の代
で終わりと思ってたんじゃないかな。でも、蔵元さ
んに迷惑かけないようメンテナンスだけでもできる
ようにと、9年前帰ってきて「俺、やるよ」って言っ
たの。

——お父様も3年前亡くなり、今では国内唯一の焼
酎用木樽職人ですが、大変なことはありませんか？

最初の5年間で親父と一緒に作ったことがあるこ
とはできるんだけど、作ってるのを見たこともない
ものをやるときは、骨が折れたね。設計図は親父の
頭の中だもの。工場にある親父が使ってた道具をみ
て、「これを使うのか？」って推理してね。だから、
工場に残ってた木板とかも、間違ってた使わないよう
にマジックで「見本」って書いてある（笑）。

——現在はどうくらいの蔵元で使われてるんですか？

県内の14社に入れています。木樽は4年を目安に、
蔵元さんが入れ替えを考えるらしいんだけど、1つ

作るのに2カ月かかる。普通のサイズでも、高さ
145センチで底板135センチあって、持ち上げるのも一
苦労ですよ。

——昨年のツアーの時に本物を拝見して驚きました。

蔵元の人をよく見に来るんだけど、ツアーの受け
入れはその時が初めてだった。菅牟田の「ホテルの
夕べ」の時だったね。けっこうな人数がきて、道具
を眺めたり、みんな樽をのぞき込んだりしてたね。
普段、樽の中をまじまじとのぞき込まれることがな
いからなんか緊張したよ（笑）。でも、質問もいくつ
かもらったりして、楽しかったね。



津留 安郎 さん



ほかに色々あります！ 曾於市の魅力！

曾於市内 ツアー実施内容

「食」に関する体験

季節に合わせた「食」の体験。そば打ちやピザ作り、ジャムやドライフルーツ作りなど、種類も豊富です。



自分で作ると
また格別！

伝統芸能の鑑賞

ゴッタンやひょっとこ踊りといった伝統芸能が今なお伝わっている曾於市。見ているだけで笑みがこぼれます。



引き継がれる
伝統に感動！

史跡巡り

「知って欲しい史跡巡り」や「歴史探検」など、テーマに合わせて数多くある史跡の中から専門家がチョイス。今年は西郷どんに関する史跡も要チェックです。



知らなかった事
がたくさん！

自然散策・トレッキング

豊かな自然の中を歩くだけで、ストレス解消や健康づくりになります。一緒に歩くガイドが道々に咲く草花の解説などもしてくれるので、知っている道も特別なものに。



みんなで歩くと
更に楽しい！

収穫体験

曾於市の豊富な特産品を自分の手で。季節に合わせて、マンゴーやブルーベリー、白菜や椎茸など農家さんのアドバイスも聞きながら体験できます。



家に帰っても
楽しみ続く！

イベント参加

弥五郎どん祭りや流鏑馬、鬼追いなどの伝統的行事から自主文化事業のライブまで、イベントに合わせてツアーを敢行。



裏話が聞ける
チャンスも！



同窓会で！仲良しの集まりで！ツアーをしたいと思ったら 曽於市観光特産開発センター

開発センターでは年間通して、定期的に曽於市内のツアーを行っています。
また、観光のワンストップ窓口として観光の企画・段取り・案内もできる体制が整っていますので、曽於市観光の行き先を悩んでいるときはお気軽にご相談ください。



☎ 0986-28-0111

営業時間：朝 8 時 30 分～夕方 5 時 30 分まで

住所：鹿児島県曽於市末吉町深川 11050-1（道の駅すえよしの敷地内）

<http://mecena-sueyoshi.com/soo-kanko/>



「桜を見るならどこ？」といった電話でのご案内や「同窓会で母校にも行って、史跡巡りしたい」といった行程の企画まで。観光に関することなら何でもご相談ください！ スタッフ一同お待ちしております！

今年も2月がアツい!! 県下 駅伝 始まる

第65回大会



Bクラス優勝 目指す

鹿児島県の春を告げる風物詩「鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」(以下、県下一周)が今年も2月17日(土)・21日(水)まで行われる。

今回で65回目の開催となるこの大会。参加チームは地区ごとに分けられた12チームとなっており、曾於チームは曾於市・志布志市・大崎町から21人の選手と監督たちで編成されている。

曾於チームの昨年の結果は総合8位。活躍した主力選手が抜けたこともあり、厳しい戦いだった。

今年はどのような戦いになるのか。まだ最終メンバーも決まっていない1月中旬頃、「始まってみたいとわからないんだけどね」と前置きをしつつも、曾於陸上競技協会の和田理事長に話を聞くことができた。

「チームとしては、巻き返してきけるメンバーがそろってきているという印象ですね。昨年は仕事などで出られなかった選手が復帰したし、昨年高校3年生だった選手が抜けたものの、走れる1、2年生の選手が入ってきている。新人が強い印象ですね。もしかしたら、重要なところを走ってもら

ような場面も出てくるかもしれません」

県下一周では、各選手が5日間最大3回走ることになる。その制限の中、勾配がきつい区間、距離が長い区間などに対しての適材適所を考え、オーダーが決まってくるのだ。

「二日で終わる大会なら、5人強い選手がいれば勝てるかもしれない。だけど、5日間だから全員で走らないと。選手たちみんなが気持ち切り替えず、力を発揮して欲しいですね。きちんといけば、今年はBクラス優勝(総合5位)を目指せると思っています」

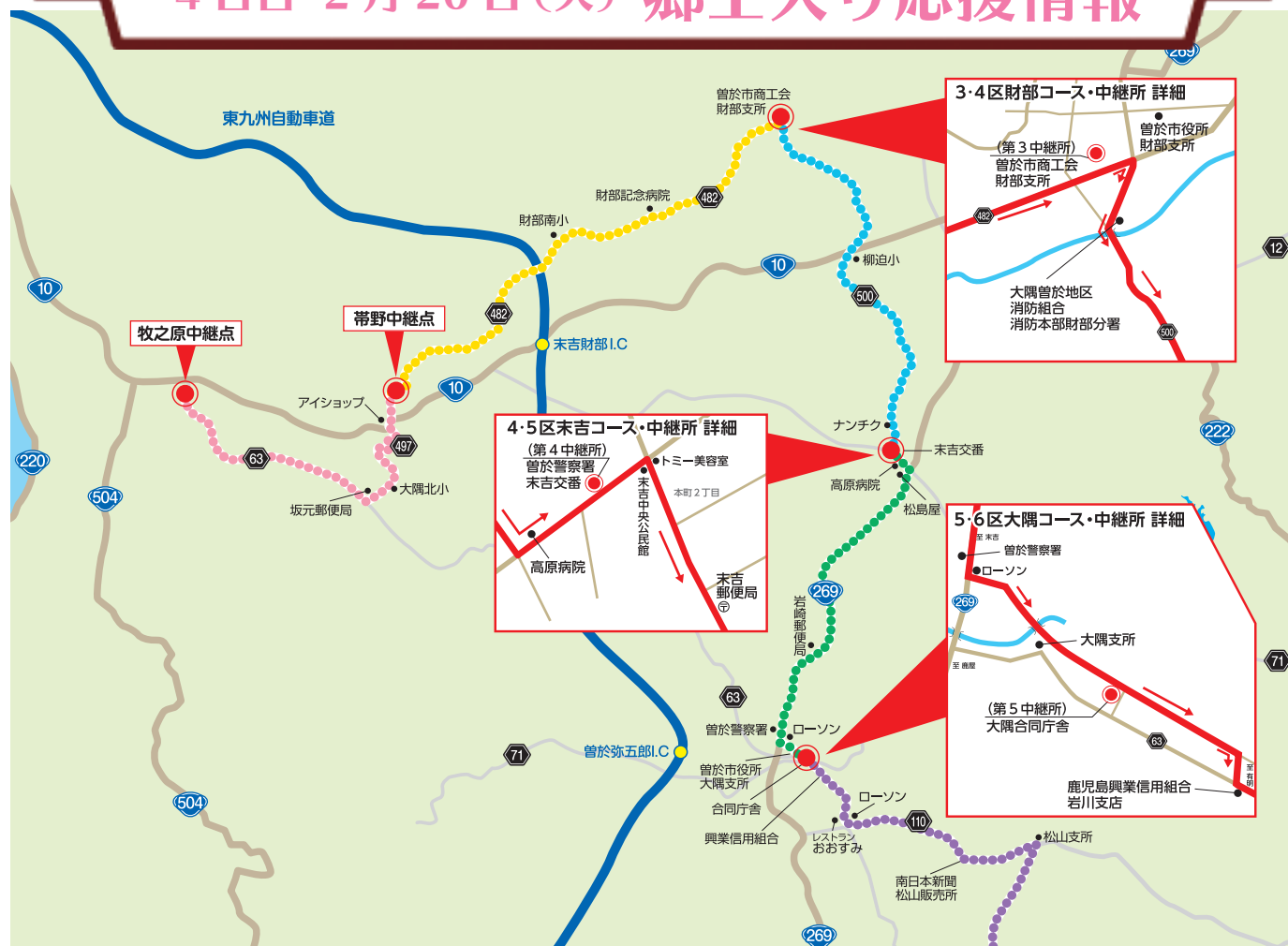
駅伝は全員でつなぐもの。選手たちは少しでも早く襷(たすき)を渡そうと力を振り絞って走り続ける。「だから声援というのは選手にとって力になるんです」と和田理事長。今年も、曾於市内を通り抜けるのは4日目。その日はぜひ、沿道で彼らに声援を送ってほしい。



和田 幸夫 さん
曾於陸上競技協会 理事長。
県下一周の期間中も選手をサポートする。陸上競技協会に携わって15年。

見てみたい！ 応援してみたい！ 現場の雰囲気を味わいたい！

4日目 2月20日(火) 郷土入り応援情報



生の声援を送る！

上の地図をみて、どのあたりで声援を送りたいかをチェック。だいたい何時頃に選手たちが通過するかは、中継点の通過予定時刻を目安に。

2区発 牧之原中継点	9時41分
(牧之原運動公園)	
3区発 帯野中継点	10時13分
(帯野公民館下)	
4区発 財部中継点	10時46分
(商工会財部支所)	
5区発 末吉中継点	11時18分
(曾於警察署末吉交番)	
6区発 大隅中継点	11時45分
(大隅合同庁舎)	

気持ちを届ける！

観に行く時間はないけれど、状況は知りたい。そんな方は、コミュニティラジオの中継を聞いて、心の中で応援してみてもいい。

Soo Good FM 【87.4Mhz】

11 時前後で各中継点からの中継を予定

おおすみ FM ネットワーク (FM かのや) 【77.2Mhz】

毎年恒例 県下一周駅伝の特番を予定

正午～午後 1 時 /

午後 1 時 15 分～ 15 時頃 (ゴールまで)

※場所によっては受信できない場合があります

※ 時間に余裕をもってのご観戦、ご通行をお願いいたします。

※ 車などによる選手への伴走は大変危険であり、固く禁じられています。ルールを守ってご観戦ください。



NEWS 市内2小学校で「人権の花」運動が閉校



恒吉小の皆さん



高岡小の皆さん

12月14日、恒吉小学校と高岡小学校で「人権の花」運動の閉校式が行なわれました。

恒吉小学校では、坪内校長が「みんなで育てたひまわりがたくさん咲き、みんなの思いやりの心が通じた」と話しました。同小5年の山ノ内友美さんは「人も命があるようにひまわりも命がある。そのことを感じながら大切に育てることができて良かったです」とあいさつしました。

高岡小学校では、原口校長が「みんなが愛情を込めて育てたひまわりが、背の高さよりずっと大きくなった」と話し、同小5・6年の児童代表3名が「この活動をきっかけに友達の気持ちについても考えていきたい」と決意のことばを述べました。

法務局から、感謝状と人権まもる君、人権あゆみちゃんのぬいぐるみがそれぞれの学校に贈られました。

SOO City NEWS ジオの魅力を感じながら散策



12月10日に曾於市、都城市、霧島ジオパーク、曾於市観光特産開発センター、都城市観光協会が連携して霧島ジオパークウォーキングを開催しました。

本イベントは今回で8回目。約90人の参加者は、大川原峽をスタートし、桐原の滝、三連轟、溝ノ口洞穴、関之尾の滝までの12キロを地質や植物を観察しながら散策し、6時間かけて全員がゴールしました。

参加者は「ガイドさんの分かりやすい説明で地域の魅力を再発見できました」と話しました。

SOO City NEWS 研修生が食の大切さを学ぶ



12月2日、きたん市場（財部町）で青少年リーダー研修生が産業体験活動を行いました。

この研修事業は、宿泊研修やボランティア活動など年間を通して行っており、今回はきたん市場の松ノ下幸人さん、田畑農園の田畑孝さんを講師に招き、ピザ作りや農園見学を実施しました。

研修生は、曾於市の食材がどのように育てられ、全国に出荷されているのかを学習した後、地元食材を使ったピザ作りを体験。食の大切さや産業を学ぶよい機会となりました。



12月4日、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映にあたって、曾於市観光ボランティアガイドが現地研修を実施しました。

西郷隆盛のひ孫、西郷隆夫さんによる講演会に参加した後、西郷どんゆかりの地を巡る研修を行いました。

曾於市にも西南戦争にまつわる官軍墓地や薩軍墓地などがあり、多くの観光客が訪れる見込みです。研修に参加したガイドの皆さんは「今回の研修で学んだことを生かし、曾於市をPRしていきたいです」と話しました。



12月12日、大隅町岩川出身の西段隆美さん（福岡県宗像市）が「困っている人に配ってほしい」ともち米8ト（岩手県産と熊本県産）を曾於市に寄付されました。

西段さんは昨年度にも、もち米3トを寄付されています。

今回いただいたもち米は、市が把握している生活困窮者や児童・高齢者・障害者福祉施設等に分配されました。

五位塚市長は「昨年に続き、もち米を寄付してくださりありがとうございます。生活困窮者を中心に配布します」と話しました。



12月20日、市長室で「第10回曾於市米自慢コンテスト」の表彰式が行われました。

審査は2つの部門に分かれており、合計で50展の応募の中から最優秀賞、優秀賞の5名が表彰されました。

部門別受賞者は次のとおりです。

最優秀賞	木下福德さん（財部町）
優秀賞	東望さん（末吉町）
減農薬・無農薬の部	古藤俊成さん（末吉町）
最優秀賞	吉山弘己さん（末吉町）
優秀賞	長野修治さん（財部町）



12月23日、ボーイスカウト曾於第6団がスーパードなど4カ所で歳末助け合い募金活動を行いました。

この奉仕活動は、同団が発足した昭和44年から毎年行われており、今回で48回目。当日は約20人の団員が募金を呼びかけ、集まった募金は共同募金とユニセフに寄付されました。

募金を呼びかけた徳石響介さんは「皆さんから頂いたたくさんの方の温かい善意が世界中の方々に届けられることをうれしく思います」と話しました。



1月14日、新春の風物詩「第13回曾於市健康づくり駅伝大会」が財部城山総合運動公園の周回コース（全8区間10・7^キ）で行われました。

当日は小学生の部22チーム、中高生の部11チーム、一般の部14チームの計47チーム（493人）が参加し、健脚を競いました。沿道からは、懸命に走る選手たちへ声援が贈られていました。

【部門別優勝チーム】

小学生の部 財部J、S（A）
 中高生の部 SBCA
 一般の部 ケミカル



12月21日、市とサツマイモ菓子製造会社の横山食品株式会社が立地協定を結びました。

同社は、平成14年に高知県から曾於市へ本社を移転。今回の協定で、内村工業団地内にある鹿児島工場を増設し、主力商品の芋けんぴ、芋チップスの生産を3割程度増やす予定です。

五位塚市長は「地元の雇用創出に期待しています」と話し、横山英世社長が「地元で愛される企業を目指して、社員一同頑張っていきます」と話しました。

NEWS 五穀成就を祈り鬼が大暴れ！



1月7日、末吉町深川の熊野神社で鬼追い（県指定無形民俗文化財）が行われました。

鬼追いは、仏に罪を告白し悔い改め、国家安泰や五穀成就を祈る仏教行事です。鬼が暴れるほどその年は、五穀豊穡になるといわれています。

小雨の降る中、ひよつとこ踊りと鬼神太鼓の奉納演奏が行われ、鬼追いがスタート。半鐘や空砲が激しく鳴り響く中、3匹の鬼たちは神社領域を縦横無尽に暴れ回りました。

兵庫県から来た写真家は「熊野神社の鬼を撮るために神戸から来ました。後世に残したいです」と話しました。



成人式実行委員長
水枝谷 壘 さん

419人の新成人が誕生。

平成30年曾於市成人式が1月3日に末吉総合センターで開催されました。
今年の新成人は419人。

式典終了後には実行委員会企画事業が行われ、恩師からのビデオレターや
モノグラムのライブがあり、一生に一度の成人式となりました。

色鮮やかな振り袖、真新しいスーツ、羽織袴などに身を包んだ新成人の
皆さんは、旧友との再会を楽しんでいました。

